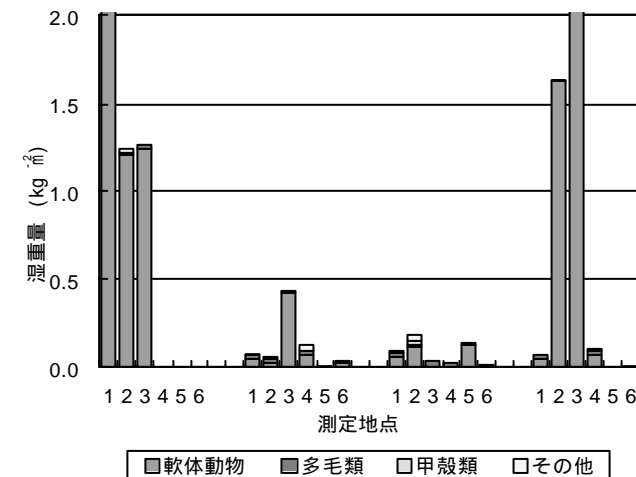
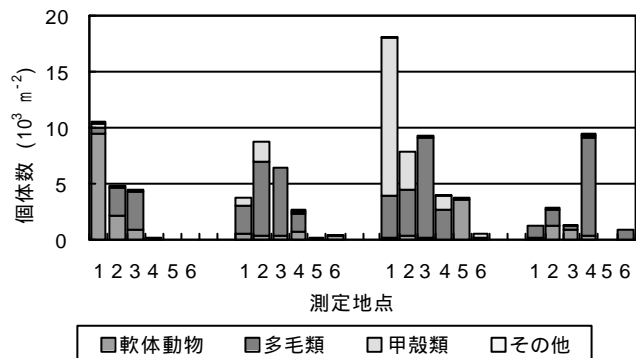
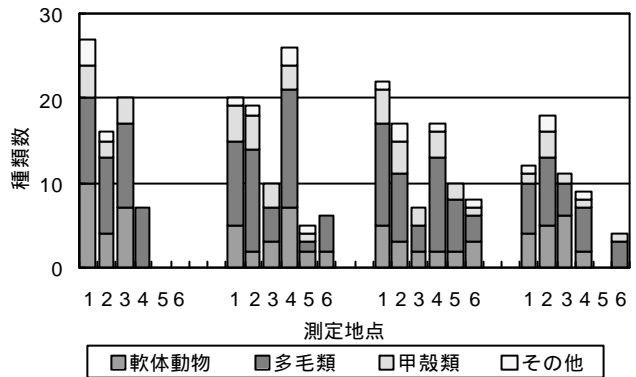


図2 ( ) 東京湾奥部調査地点 1～6における底生生物(上)種類数(中)個体数(下)湿重量の季節変化。左から1996年9月、1997年2月、1997年5月、1997年9月測定データのデータ

図1 ( ) 東京湾における調査地点。地点1～4は、三番瀬内、水深2m以下。地点5、6は東京湾奥中央部で、水深は、それぞれ、約12、18m。地点1～6で浅海域の特徴を水質、底生生物から調査した。地点F 1～5では、シオフキガイの個体群動態の調査を行った。



内湾域の物質循環を考えるには、 $\Rightarrow$  (採植食物連鎖) や、 $\Leftrightarrow$  (微生物植物連鎖) で示される伝統的な連鎖経路だけでは不十分。 $\Rightarrow$  で示した「従来軽視されてきた生物」が重要な働きをしている。

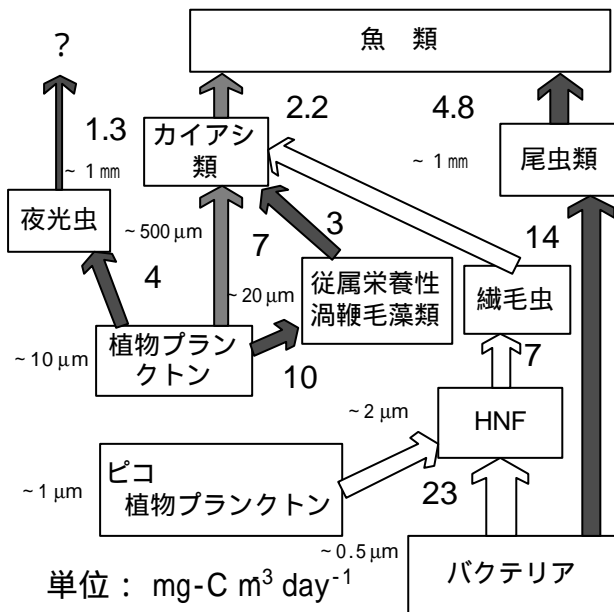


図3 プランクトン生態系の模式図

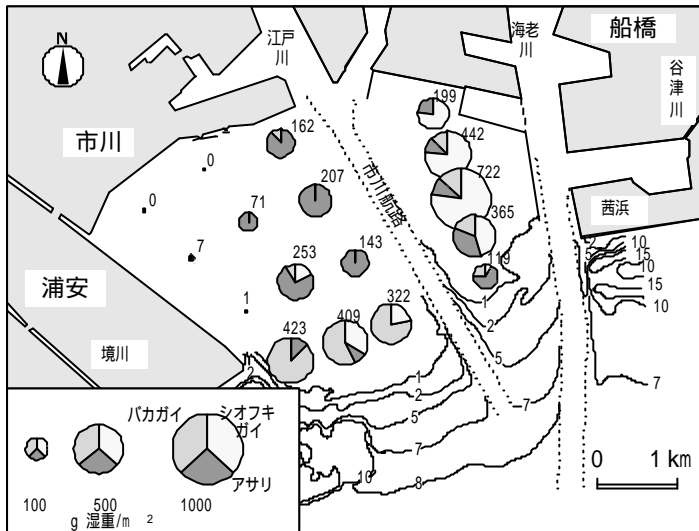


図4 三番瀬における二枚貝の水平分布 (1998年6月)。



図5 二枚貝の呼吸・ろ過・排泄速度測定装置概略図

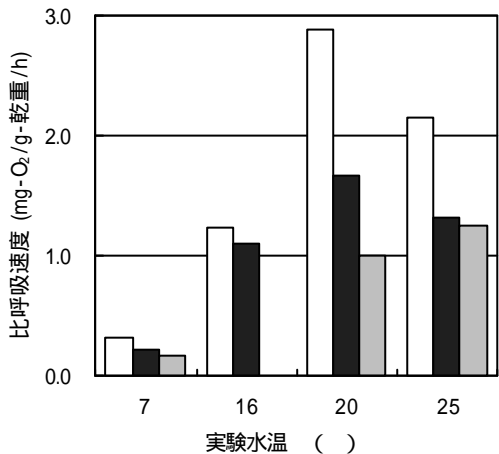


図6 水温とシオフキガイの重さ別の呼吸速度

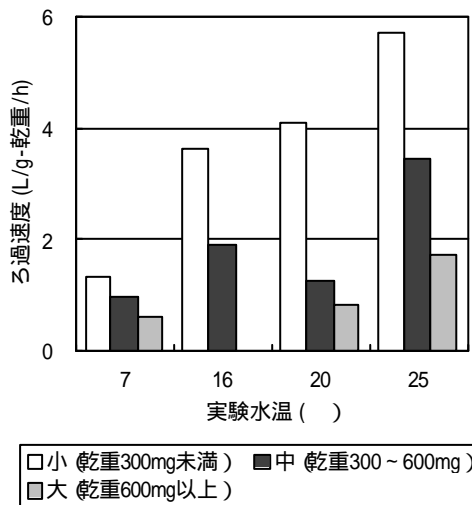


図7 水温とシオフキガイの重さ別の海水ろ過速度

表1 自由記述式の回答に現れた単語や記述内容と、記述した回答者数の例

質問：瀬戸大橋は地元にとどのような影響をもたらしていると思いますか。良い面、悪い面など、お書き下さい。

単語	坂出		下津井		児島	
	回答者数	回答者数	回答者数	回答者数	回答者数	回答者数
料金高い	66	料金高い	36	料金高い	59	
便利	52	便利	32	便利	51	
通過点	48	騒音	32	四国	40	
坂出	34	四国	27	JR	32	
変化なし	27	観光	17	児島	28	
料金安ければ	27	観光客	15	通過点	27	
料金値下げ	23	料金値下げ	14	騒音	26	
利用できない	23	地元	14	観光	22	
観光	21	通過点	13	岡山	21	
発展	20	下津井	13	利用できない	19	
岡山	19	減少	13	地元	17	
物流	19	利用できない	11	料金値下げ	17	
閉鎖	18	魚	11	車	17	
交通	17	料金安ければ	10	インター	16	
本州	17	JR	10	通勤通学	15	
悪天候	17	児島	9	利用少ない	15	
景観	15	岡山	8	交通	14	
商店街	14	発展	8	料金安ければ	13	
時間短縮	14	車	8	交通量増加	13	
JR	14	観光客増加	8	悪天候	13	
車	14	景観	8	近い	11	
利用増加	13	夜間点灯	7	利用増加	11	
騒音	12	近い	7	観光客	11	
利用	11	レジャー	7	児島駅	10	
寂れる	11	速い	7	発展なし	10	
三橋時代	10	鷺羽山	7	時間短縮	10	
一時的	10	海	7	産業	9	
通勤通学	10	交通量増加	7	景観	9	
人の流れ	9	渋滞	6	道路整備	9	
近い	9	利用増加	6	閉鎖	9	
道路整備	9	不便	6	道路	9	
地元	9	道路整備	6	変化なし	9	
経済	9					
利用少ない	9					

